

公益社団法人宇都宮青年会議所
2015年度 第8回 理事会議事録

日 時：2015年 8月 25日（木） 19：00～22：00

場 所：コンセーレ 小ホール

出席者：

- （ 理 事 長 ） : 須山（敬称省略 以下同）
（ 直 前 理 事 長 ） :
（ 副 理 事 長 ） : 澤畑、福田(之)、廣田、太城、
（ 専 務 理 事 ） : 金
（ 監 事 ） : 安野
（ 担 当 常 任 理 事 ） : 豊崎、羽石、飯野、鈴木
（日本 JC 委員会特別委員長） :
（ 会 員 拡 大 特 別 委 員 会 ） : 小瀧
（ 法 令 会 計 審 査 局 局 長 ） : 豊崎
（ 事 務 局 局 長 ） : 飯沼
（ 委 員 長 ） : 辻、渋江、増淵、宮林、福田(弘)、山田、
木村、飯塚、加賀田（代理）
（ 局 次 長、副 委 員 長 ） : 間島、金田、柿沼、吉田、菊地、中嶋、板林、佐藤、
（ 準 理 事 会 構 成 員 ） : 齋藤、佐々木（代理）、亀井

1. 開会宣言 <金>（役職名省略 以下同）
2. JCI クリード唱和 <宮林>
3. JCI ミッション並びに JCI ビジョン唱和 <増淵>
4. JC 宣言文朗読並びに綱領唱和 <渋江>
5. 関東地区宣言唱和 <辻>
6. 出席者の確認 <飯沼>
7. 議事録作人並びに議事録署名人の指名 議事録 <総務委員会>
議事録署名人
須山 裕史
安野 嘉政
8. 前回議事録の確認 <金>
9. 議題並びに資料の確認 <飯沼>
10. 2015年度理事長挨拶 <須山>

皆さまこんばんは。お配りした太田のサブレですが、先ほど太田から関東地区の次年度の専務がいらっしゃいまして、引継ぎをしました。その手土産です。さて、8月は宮まつり皆さん大変お疲れ様でした。反省会には出られませんでした。大きなトラブル、事故等なく終えることができました。反省会では早めに皆さんの意見を抽出できたと言うことで、41回以降にうまく引き継ぐことができると思います。あのような大きな事業を成功に導けたと言うのは素晴らしいことだと思います。また、理事会の前と言うのは新入会員の理事長面談と言うものをやるのですが、今日はいませんでした。来月が本年度の入会候補者の締め切りとなっていますので、今一度、今年掲げた30名と言う目標に向かって勧誘のほうを拡大委員会を中心に頑張っていたいただきたいと思います。今日は議案も多いと聞いておりますので、挨拶も短めにさせていただきます。活発な意見を頂戴したいと存じます。よろしくお祈りいたします。

1 1. 直前理事長挨拶

公務にて欠席のため割愛

1 2. 役員報告

総務委員会 辻委員長より、総会日程変更の案内。

宮まつり委員会 木村委員長より、宮まつりと反省報告会の御礼。

渉外委員会 渋江委員長より、全国大会八戸大会の案内。

金専務 栃木ブロックセミナーの案内。栃木フォーラムの案内。

1 3. 審議事項

審-1 7月 郷土愛醸成例会 開催報告並びに決算（案）承認の件

審議資料に基づき、飯塚委員長より上程文の読み上げ

<須山> 審議事項ですので法令会計豊崎局長、補足ありましたらお願いします。

<豊崎> 特段ございません。慎重審議をよろしくお祈りいたします。

<須山> 担当委員長として、飯塚委員長は次年度以降何を引き継ぎたいですか。

<飯塚> これを機に正しい歴史認識を後世にまで伝えていくべきだと思いますので、来年度以降も事業として残していければと思います。

<須山> 正しい歴史認識というものはなく、何が正しいのかは個人の主観によって決められるものだと思います。歴史には正解も不正解もないのかなど。これは理事長の所見です。その他ご意見なきようですので、審議に移りたいと思います。

賛成の方右手挙手をお願いします。飯沼事務局長

<飯沼> 全会一致です。

<須山> 全会一致を持ちまして、7月郷土愛醸成例会開催報告並びに決算（案）を審議可決いたします。

審-2 5月 わんぱく相撲例会 開催報告並びに決算（案）承認の件

審議資料に基づき、宮林委員長より上程文の読み上げ

<須山> 予算について豊崎委員長何かご意見ありますか。

<豊崎> 1点見落としておりました。決算と予算総額を記載していただくようお願い致します。

<須山> それでは本議案にご意見のある方、お願いします。

<須山> 青少年育成と言う観点でこのわんぱく相撲がありますが、相撲意外だとしたら何がよいと思いますか。

<宮林> 私の主観ですが、一生懸命できる、競技性のあるものがよいと思います。

<須山> 何が言いたかったかといいますと、わんぱく相撲などは参加者が限られるものです。また別の形で達成感や人との繋がりを感じることでできる事業もあると思います。なぜ継続事業となっているのかはそれなりの理由があります。今一度、その主旨を再確認して次年度以降も取り組んでいただきたいと思えます。

<小野> 私は本年度初めて参加させていただきました。子どもたちの頑張っている姿を生で見ると言うのはとても感動しました。

<木村> 実施上の問題を見ますと、去年の引継ぎ事項をうまく生かしていなかったと思います。本年の引継ぎ事項を来年は生かし、よりよいわんぱく相撲の運営につなげていただきたいと思えます。

<須山> その他ご意見なきようですので、審議に移りたいと思えます。賛成の方右手挙手をお願いします。飯沼事務局長

<飯沼> 全会一致です。

<須山> 全会一致を持ちまして、5月わんぱく相撲例会 開催報告並びに決算（案）承認の件を審議可決いたします。

審-3 6月 法令例会 開催報告並びに決算（案）承認の件

審議資料に基づき、間島局次長より上程文の読み上げ

- <須山> ご意見ある方、挙手にてお願いします。
- <須山> 参加員数計画報告中の米印は何ですか。
- <間島> 特に深い意味はございません。
- <須山> なぜ聞いたかと言いますと、フォーマットに不備があるように思われるためです。
- <豊崎> 米印は削除の上で審議とさせていただきたいと思います。
- <須山> 対外の方が聞いていなかったとのことですが、なにか策はありますか。
- <間島> もう少し身近な内容にすればよかったかなと思います。
- <須山> 審議に移りたいと思います。賛成の方右手挙手をお願いします。飯沼事務局長
- <飯沼> 全会一致です。
- <須山> 全会一致を持ちまして、6月法令例会 開催報告並びに決算（案）承認の件を審議可決いたします。

審-4 9月 50周年準備例会 開催報告並びに決算（案）承認の件

審議資料に基づき、吉田副委員長より上程文の読み上げ

- <須山> ちょっと資料が読みづらいです。もう一度見直してください。
- <木村> 飲食についてですが、3500円をもらって飲食をしながら例会を行うというのは、できることは限られると思います。どうお考えですか。
- <吉田> 致し方ないと思います。
- <飯野> 確かに飲食についてのご指摘は多々あることは受け止めております。飲食を伴うことへの効果は、新しい試みとしてご理解いただければと思います。
- <木村> 重々承知しておりますが、委員会で話し合っているのか疑問です。飲食を伴うのであれば、飲み物だけで一人千円にするなどして、メンバーが出席しやすい対応も出来るのではないのでしょうか。
- <辻> フォーマットの件で修正です。意見と対応の箇所で日付の修正と、法令審査の箇所で黒丸の大きさの修正をお願いします。
- <吉田> 修正させていただきます。

- <小瀧> 年表の歴代理事長のお名前に誤字があります。
- <吉田> 修正させていただきます。
- <須山> 一見、華がある例会に見えますが、動員はどのように考えていますか。魅力はどこにありますか。
- <福田（弘）> 入会年度の浅いメンバーは、今までどのような事業をやってきたのか分からない点があると思います。第2部では、宇都宮の未来について思っていることを忌憚なく話し合える設えとなっています。
- <須山> ありがとうございます。80パーセントの動員を目指して頑張ってくださいと思います。それでは審議に移ります。賛成の方は右手挙手をお願いします。飯沼事務局長。
- <飯沼> 賛成28票、白紙が1票です。
- <須山> それでは白紙の理由を聞いてから審議に戻しましょう。木村委員長。
- <木村> 満足できるのかなと。そこに尽きます。委員会で話し合ったのかも疑問に思いましたので白紙にさせていただきました。
- <須山> 白紙のご意見は貴重なものと受け止めていただいて、残りの期間しっかり準備を進めていただきたいと思います。それでは賛成多数で審議可決といたします。

14. 協議事項

協一 10月 食育事業 開催計画並びに予算（案）について

中嶋副委員長より2回目の上程のため変更点の読み上げ

- <金> ご意見ご質問はございますか。
- <宮林> 細かい箇所ですか、多様化近代化する食生活とのことですが、ご説明をお願いします。
- <中嶋> 食品添加物が利用されていることや、様々な加工の仕方があるということそのことを指しています。
- <金> 事業概要についてご意見ご質問ありませんか。

- <加賀田> ヒアリングの仕方のご説明をお願いします。
- <中嶋> 当日、ヒアリング担当委員会を設けまして、備品にありますヒアリングノートに聴いたことを書き、後日集計する形を取っています。
- <加賀田> その場合この質問数はかなり時間がかかると思います。あと会場が混雑することが考えられますがどうお考えですか。
- <中嶋> いま記載されている内容から抜粋して聞き取り調査を行おうと思います。また、ブース内で時間配分を考慮したうえで、記載しております。
- <羽石> 前回の法令審査に対する対応ですが、現時点でどこまで確認しましたか。
- <中嶋> 見積書の消費税ですが、含んでおりました。2と3については連絡待ちとなっております。
- <羽石> 食育事業は過去10回行われており、この手の質問は想定問答として出ていると思います。早めに潰していくことをお勧めします。
- <辻> 展示パネルですが、順序が分かりづらいと思います。手の洗い方についても見づらいです。
- <山田> 委員会別担当表ですが、どの時間が空くのか分かりません。
- <中嶋> 今のところ各委員会2名程度と考えております。各委員会で持ち回りしていただきたいと思います。
- <佐藤> ビジターの参加予定ですが今のところおりません。5名と記載がありますが根拠を説明願います。
- <中嶋> ブース内の担当箇所を考慮しまして、5名が適切かと判断しました。
- <金> ドレスコードはどこかに記載ありますか。
- <中嶋> ありませんので、次回までに記載します。
- <須山> 意見と対応の書き方ですが、クエスチョンマークは削除してください。あとメンバーの集合時間はかいてありますか。
- <中嶋> 次回までにははっきりさせたいと思います。
- <須山> 懇親会はあるのですか。
- <中嶋> したいと考えています。

協一 2 10月 まちづくり例会 開催計画並びに予算（案）について

板林副委員長より 2 回目の上程のため変更点の読み上げ

<金> 次年度のスケジュールも入ってきていますので確認の上、調整願います。

<板林> そのようにいたします。

<斎藤> 事業目的の対外ですが、今回のハロウィンイベントと言うことですが、市民や企業との連携において、参加した企業や団体のPRをしっかりといただきたく思います。

<金> 対外目的ですが、市民と連携を深めること、効果的な運動を波及すること、輝かせる人材の創出の契機となること、これらが全て目的として入っていると言うことでよいですか。

<板林> はい。

<金> ならば検証する必要性が出てきます。対外アンケートを見る限り検証できないと思います。しっかり精査してください。

<山田> 協力店舗ですが、そこにJCメンバーを配置するのでしょうか。

<板林> 各店舗に2名程度ずつアシスタントとして配置しようと考えております。

<佐々木> 他委員会のメンバーはなにをすればいいのでしょうか

<板林> 出向者会議での落とし込みを考えておりますが、大まかには協力店舗のアシスタントになると思います。

<小瀧> ビジター10名、うち政策委員会から3名と書いてありますが、ご紹介いただけたらと思います。また、各委員会4名と書いてありますが、何か根拠があっての人数ですか。

<板林> 4名は目安です。

<福田（弘）> チラシについてですが、サブタイトルについてご説明願います。

<板林> こちら削除予定です。

<間島> 前回の法令の際、参加申込書に載せる文章を記載してくださいと言うことでしたが、まだのようですので載せてください。

<木村> 3点ほど。1点目、帽子は無料ですか。2点目、協力・共催団体の箇所はち

よっと考えてほしいと思います。3点目、かんぴょうの工作で電動工具を使うとの事ですが、保険等はどうなっていますか。

<板林> 申し訳ございません、帽子ではなく手提げ袋の誤りです。手提げ袋は無料で配る予定です。協力・共催の部分ですが、もう一度ご質問をお願いします。

<木村> 他団体が金銭を負担してやるのであれば共催だと思いますが、手伝うくらいでは協力ではないでしょうか。

<板林> 共催・協力はもう一度何が適切なのか委員会でも話し合いたいと思います。電動工具で作業するのは運営スタッフですので大丈夫かと思います。その上で保険にも加入しています。

<金> 保険の内容が添付資料として入っていません。詳細が分かるような資料を添付してください。

<亀井> 会場図で受付・救護テントとありますが、本部でよろしいですか。

<板林> はい。そちらが本部テントです。

<宮林> ハロウィンの内容が決まった経緯は委員会が決めたのでしょうか。

<板林> 委員会で各団体へヒアリングを行い、多く出た意見を参考に打合せを重ね、決まったものです。

<宮林> ヒアリングの結果が分からないのですが、各団体の多数意見で決まったと言うことでよろしいですか。

<板林> まず草案を用意し、それ以外の意見をヒアリングにてお聞きしたものです。

<宮林> この事業は議案中の背景で、市民協働や当事者意識という言葉が出てきます。皆さんで決めることが大事だと思われまますので、その過程が分かるような添付資料を付けていただきたいと思います。

<小瀧> 開催趣意書ですが、明日付けになっていますので訂正をお願いします。また5行目の一文が無理のある言い回しになっています。あとまちづくりプロジェクトとありますが、宮ハロは入れないのですか。入れないのであれば直されたほうが良いと思います。

<金> 修正されないのであれば、配布は厳しいと思います。

<飯塚> ご意見ありがとうございます。8月13日付で事前配信になった資料であり、そのときにご意見をいただければ本理事会に間に合ったと思います。今回の主旨は、プロジェクトを作り上げるのが目的となっていますので、宮ハロを入れる予定はありません。文言の伝わりにくさのご指摘がありました

が、できればこのままでお願いしたいと思います。

<小瀧> 事前配信の際に意見しなかったことは申し訳ありません。しかし、開催趣意書は外部に出す資料ですので。しかし、委員会の意見であるのならわかりました。

<福田（弘）> 先ほどの趣意書と承諾書の確認ですが、委員会のほうで先方との話がきちんと出来ているのかということ、理事会で出た意見と先方への説明の整合性が取れていますか。

<板林> ヒアリングの際に話しています。

<金> 配布の際に補足説明で対処するという形でお願いします。

<飯沼> 参加人数ですが、300名と500名という矛盾した記述が見受けられます。また、この際に安全上の対策はどうお考えですか。

<板林> 500名が正しいほうです。申し訳ございません。安全対策は出向者会議までに詳細をつめたいと思います。

<金> 出向者会議では遅いと思います。来月の理事会までに準備していただかないと審議は厳しいと思います。

<板林> わかりました。

<飯野> 催事の概要がありますが、どのような流れなのかわかりません。次回までに詳細をお願いします。また、各団体から出向者を2, 3名受け入れますとありますが、資料では各団体代表の挨拶等何も記載されていません。もっと他団体に配慮した設えを考えたほうがいいと思います。

<板林> 来月に間に合うように考えてまいります。

<小野> 会場図が2種類ありますが、それぞれ配置が異なっているのはなぜですか。

<板林> 会場装飾図が正解です。申し訳ありません。

<増渕> ポスター配布先と枚数についてですが、幼稚園、保育園、小学校、中学校に数多くの枚数が配分されておりますが、どのような計画ですか。

<板林> メンバーでこれから割り振ります。

<宮林> 宇都宮JCとしての事業目的は連携、市民協働、効果的な波及、人材育成とこのことですが、ハロウィンをやることの目的とは何ですか。

<板林> ハロウィンには重きを置いておりません。

- <飯塚> 今回、市民協働でまちづくりに繋がる事業を構築するということで、参加する市民が事業を通して、自らが街を輝かせる人材となるということが要点です。
ヒアリングを通して決まったことなので、ひとつの手法としてご理解いただけたらと思います。
- <宮林> 基本的には何か目的があつてやると思うのですが、今回のプロジェクトに携わる方々は何の目的のためにハロウィンをやるのですか。
- <飯塚> 今回、日程もハロウィンの日と重なると言うことで、宇都宮で大々的にハロウィンをやるイベントがないということで決まりました。
- <金> 宮林委員長が言っているのは、他団体がどのような目的意識でやるのかということですか。
- <宮林> 私が想像したのは、街の活性化のための手段としてハロウィンが選ばれたのかと思いました。それについての答えを次回で結構ですのでお願いします。
- <辻> 前回の理事会から組織図が変更されている理由と、今後の他団体との関わり合いはどのように考えていますか。
- <板林> 組織図は新たに増えたところ等があったためです。どのように関わっていくのかということですが、まちづくりプロジェクトの運営の面で各団体の代表者と連携を取りながら関わって行きたいと思います。
- <辻> 今現在は一緒にこの企画を運営していく団体はいないということですか。
- <板林> 10番項の最後に参加団体の記載がありますが、その10団体から内諾をいただいています。
- <佐藤> おかしポイントの探し方を教えていただきたいです。
- <板林> それほど難解ではないので、色々なお店の人と触れ合いながら探していただきたいと思います。
- <木村> タイムスケジュールですが、最大人数の記載がありますが、必要な場所に必要な最小人数の記載が適切だと思います。また、かんばん工作の会場レイアウトですが、もう少し詳細をつめたほうが良いと思います。
- <金> 皆さんから多数の意見が出ていますが、ひとつひとつの事柄が全て詰められていないと思います。でないと来月の審議は厳しいのでそのつもりで取り組んでください。
- <須山> 板林副委員長は何がゴールなのかを明確に設定したほうが良いと思います。

今の時点でのゴールは何ですか。

<飯塚> まちづくりに関わる全ての人々が輝けるような人材育成がゴールです。

<須山> もう少しターゲットを絞ったほうが組み立てやすいと思います。
目的とゴールをもう一度委員会内で協議していただきたいと思います。

協一 3 10月 全国大会関連事業 開催計画並びに予算（案）について

協議資料につき菊池副委員長より上程文の読み上げ

<木村> 全国大会の質疑応答ですが、事前に各メンバーから吸い上げると記載があります。メンバーに知識がない状態でいい意見が出るとは思えないのですが。

<菊池> どんな意見でもいいのでということのみが現時点での方針です。
もう少し委員会で詰めたいと思います。

<林> 全国大会の基礎知識を落とし込んだほうが良いと思います。

<菊池> 委員会に持ち帰りたいと思います。

<鈴木> ビジター用の資料も用意したほうが良いと思います。

<菊池> 委員会で考えたいと思います。

<木村> 日程がジャパンカップの前日になっています。参加推進方法を再考したほうが良いと思います。

<小瀧> 司会シナリオの講師紹介プロフィール内容を確認の上修正願います。

<須山> ゴールはどこに設定していますか。

<菊池> 全国大会を主管することによって街が活性化されるということです。

<須山> 全国大会を知らないメンバーをどのように意識向上させるのが大事だと思います。

協一 4 11月 対内研修事業 開催計画並びに予算（案）について

協議資料につき金専務より上程文の読み上げ、亀井副委員長より詳細の説明

<金> 実施日時が当初より変更になっております。

<宮林> 事業目的ですが、徳育はなぜ学ばないといけないのでしょうか。

- <亀井> 徳育ありきということではありませんが、出向から得るものとして出会いがあると思います。私たちが今回目的としていますリーダーとしての資質を高めるといふものに合致しているところが多々あると感じましたので、LOMメンバー向けに特別に編集し参考にすればと思い、徳育ゼミナールを採用させていただきました。
- <宮林> 出向の価値を学ぶのになぜ徳育なのか理解できません。
- <鈴木> 今回の事業はセレモニーをやるのですか。
- <亀井> セレモニーはやりますが、3分間スピーチは除外させていただきました。
- <小野> 徳育の一般的な人に対するセミナー等は定期的にやっていますか
- <亀井> 本来ならば大人と子ども半々で行っています。今回は宇都宮 JC メンバー向けのプログラムです。
- <小瀧> 目的達成の検証ですが、フェイスブックを使った意見の収集とありますが、どういった理由ですか。
- <亀井> 参加促進のためと、広く感想を収集するためです。
- <小瀧> 一般の方々からということですか。
- <亀井> 説明不足でした。メンバーだけのページにしようと思っています。
- <小瀧> 名前の誤記の修正をお願いします。

協－5 11月 研修例会 開催計画並びに予算（案）について

協議資料につき柿沼副委員長より上程文の読み上げ

- <金> フォーマットの修正をお願いします。日程変更の経緯についてご説明をお願いします。
- <柿沼> はい。当初例会日時が27日となっていました。委員会内での子どもや一般の方々を巻き込んだ設えにとの総意から、土日を絡ませた屋外会場に設定していました。会場の空きの関係から25日に変更しました。
- <木村> 背景ですが、目的が入っていると思います。また、事業目的の文中に目的が抜けていると思います。
- <柿沼> ご指摘については持ち帰り精査いたします。

- < 渋谷 > 背景の部分ですが、数的データの裏付けはあるのですか。
- < 柿沼 > 委員会内での体感です。
- < 金 > そうであるのであれば表現を変えたほうが良いと思います。
- < 鈴木 > 決してあきらめないチャレンジ意識とは何ですか。
- < 柿沼 > 何にでも積極的にチャレンジしていただきたいというイメージで書かせていただきました。
- < 鈴木 > この議案はチャレンジしていますか。消極的に感じますがどのようにお考えですか。
- < 柿沼 > 動員に関してはチャレンジしようと思っています。
- < 小瀧 > 背景ですが、最後の2行が3月例会とほぼほぼ同じ内容になっています。
- < 木村 > このような事業内容に至った経緯をご説明願います。
- < 柿沼 > 前回の例会は市民の琴線に触れる事業ということでしたが、今回の例会は講演を聞いた方々が意識向上できるようなものにしたいと思い、講演会になりました。
- < 金 > 手法はさまざまあります。多少被る部分はあるものの、目指している部分は違うということですね。
- < 菊池 > 講師の三浦さんのプロフィールを教えてください。
- < 柿沼 > (プロフィール文を読み上げる)
- < 菊池 > もっと伝え方を考えたほうが良いと思いますが。
- < 柿沼 > 夢や希望を持って何事にもチャレンジする熱い方だと思います。
- < 金 > もう少しきちんと準備をしてから説明してください。
- < 林 > 昨年、宇都宮で講演されたみたいですが、間を置かずに呼ぼうと思った経緯は何でしょうか。
- < 柿沼 > 前回の聴衆の年齢層は高齢者がほとんどということで、今回は若い人たちがターゲットと思い選定しました。
- < 林 > もう少し強い理由がほしいです。

<小瀧> 講演実績から見て、高齢者層を対象としているように見えますが、今回の事業に適していると思う理由は何でしょうか。

<柿沼> 若者から年長者まで、広く聞いていただけたらと思いました。

<小瀧> もう少し熟考をお願いしたいです。

<木村> 背景と目的が未完成なまま、手法が決まっていつている。増淵委員長から説明をいただきたいです。

<羽石> 補足します。前回と変わらないというご指摘がありますが、多くの人々にインパクトを与えたいという思いから、講演会と言う形を取りました。葛西氏と三浦氏の経歴の違いから、今回もより深く市民の皆さまにインパクトを与えられるのではないかと思います。各委員会の担当役割は再考します。

<木村> そういった言葉は聞きたくありません。まず、委員長が答えられない。そしてゼロベースになったということですが、それを受け入れるということは委員会の問題です。委員長もこのような議案を理事会に持ってくるなら、責任があります。多額の予算を使っているわけですから。ここにいるメンバーも無駄な時間を過ごしているのと同じです。そこをもう一度よく考えていただきたいと思います。委員長と副委員長が連携が取れていません。時間がもったいない。

<金> これ以上の協議はよろしくないと思います。ひとつ問題として、委員長と副委員長がこの事業に対して認識が不足していると思います。羽石常任、その辺どうですか。

<羽石> 私も含めもっとよく話し合いたいと思います。

<金> ちょっと思いが伝わってきません。担当ラインでしっかり話し合って、成功に導くべく次クールで上程していただきたいと思います。

15. 報告依頼事項

報-1 ご一読ください

報-2 ご一読ください

報-3 会費未納者について

<豊崎> 督促状をお送りしました。未納者6名に対し除名警告を送らせていただきます。

<金> 福田委員長、小林さん、妹尾さんにはどのようなアプローチをしていますか。

<福田（弘）> 小林さんは厳しいとの事です。妹尾さんは9月1日とのことです。

<金> 広報メディアの加賀田副委員長、高久さん、和久さんにはどのようなアプローチをしていますか。

<加賀田> 本人より今月中の入金は厳しいとのことです。和久さんは音信不通となっています。

<金> 和久さんは全国大会に出向していますがその辺はいかがですか。

<安野> 当日は出席予定ですが、今までは一度も出席していません。

報-4 会費納入状況について

報-5 ご一読ください

特になし

報-6 ビジター報告について

報-7 ビジター名簿について

<小瀧> 各資料をご覧下さい。皆さまのなお一層のご協力をお願いします。

報-8 職務執行報告

報-9 その他

16、監事講評

<安野>

皆さん大変お疲れ様です。早い時間から設営の総務、渉外の皆さんいつも感謝申し上げます。本日は審議案件4件と、協議案件5件ということでかなりボリュームのある理事会でございましたが、決算の審議が多くなってきたということで、いよいよ2015年の活動の着地点が近づいてまいりました。ただ、8月の常任理事会でもお話しましたが、皆さん宮まつりが終わって少し緩んでいるのかと思われます。ここでもう一度かぶとの緒を締め、事業等々まだありますので、事に当たっていただけたらと思います。今後審議を迎える例会事業、決算報告等、議案の精度を上げるのは勿論、しっかりと資料をつけてあまり質問が出るのは皆さんが不安に思ったり疑問に思ったりするからだと思います。そういうところを委員会、スタッフ会議でしっかり揉んでいただいて、なるべくスムーズな会議を目指して議案の構築をお願いしたいと思います。理事長はいらっしゃいませんが、冒頭の

理事長の挨拶で関東地区協議会次年度運営専務がご挨拶にいらっしゃったということでしたが、いよいよ2015年度の活動が佳境なんですけれども、2016年度も少しずつ始まっているということです。2015年度から2016年度にきちんとバトンを渡せるように、理事会メンバーが一丸となって2015年度の残りの4ヶ月を突き進んでいきたいと思ひます。着地点をしっかりと見定めて今後も活動していただきたいと思ひます。

17. 閉会宣言

<金>

公益社団法人 宇都宮青年会議所
2015年度 第8回理事会議事録

議長：(専務理事) 金 克彦

議事録作成人：総務委員会

議事録署名人：須 山 裕 史
安 野 嘉 政